

事業名	地域保健医療計画推進費	財務コード (事業)	085103
-----	-------------	---------------	--------

細事業名	地域保健医療推進委員会運営事業費
------	------------------

担当部課室	福祉保健 部 医務 課 医療企画 担当 (内線)	3407
-------	--------------------------	------

事業の概要

実施期間	始期 H18 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)		
事業の目的	誰(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	二次医療圏ごとの医療計画の推進等に 係る事項	各地域の医療関係者、自治体関係者 等による地域保健医療推進委員会に より、課題や進捗状況の検討・協議が 行われ、計画の推進に活用されてい る。	各地域住民に対する適切な医療サービ スの提供
事業の内容 主に 24年度	地域住民の健康、適正な医療供給体制の確保等、二次医療圏ごとの保健、医療等の行政を総合的、計画的に推進するため、保健所を事務局として地域保健医療推進委員会を開催している。 平成24年度は、主に救急医療に係る課題への対応、新たな医療計画の策定に関する事項、医療計画の推進状況などについて協議した。 【協議事項】 ・医療計画の策定及び進行管理に関すること ・地域の救急医療及びへき地医療対策に関すること ・地域の保健指導等に関すること ・その他地域内の保健、医療等の充実、向上に関すること 【委員数】 ・中北 26人 ・峡東 22人 ・峡南 21人 ・富士・東部 31人		
根拠法令等	設置要綱		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と 目標の実現度	23年度	24年度		25年度	26年度	事業目標の考え方	
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値		
活動指標	開催回数					活動指標 目標設定の考え方 例年の開催実績 データの出典等 予算見積書	
	中北	2回	3回	2回	3回		3回
	峡東	2回	3回	2回	3回		3回
	峡南	2回	3回	2回	3回		3回
富士・東部	1回	3回	1回	3回	3回		
活動指標達成率 (実績値/目標値)		58.3 %					
成果指標						成果指標 目標設定の考え方 データの出典等	
	成果指標達成率 (実績値/目標値)		%				
決算額、予算額	537	588		1,275	1,279	成果指標によらない成果 地域保健医療計画や地域医療再生計画の検討の外、地域の各地域内における医療課題について協議をしている。	
(千円) うち一財額	537	588		1,275	1,279		
所要時間(直接分)	350(50 時間/回) 時間	350(50 時間/回) 時間		600(50時 間/回) 時間	540(45時 間/回) 時間		
所要時間(間接分)	0 時間	0 時間		0 時間	0 時間		
所要時間計	350 時間	350 時間		600 時間	540 時間		
人件費1st 単位:千円 (@2,050円×所要時間)	718	718		1,230	1,107		

これまでの事業の見直し・改善状況

--

活動量と成果の判断(平成24年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断)

数値判定 H24年度 活動指標 達成率	活動量に係る 一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価とが異なる場合等に記入すること 予算は各圏域最大3回(予算単価表の「開催は3回を基本とする」)で計上しているが、各圏域ごとに必要に応じて開催しており、予定どおりの活動量があるものとする。
c	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

(2) 事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)

数値判定 H24年度 成果指標 達成率	成果に係る 一次評価	成果に係る一次評価の考え方 必ず記入すること 地域保健医療計画や地域医療再生計画の検討の外、各地域内における医療課題について協議をした結果、解決を図るなど、ほぼ意図した成果を上げている。
	b	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。 b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。 c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。 d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

見直しの必要性(平成26年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部評価結果)

見直しの必要性	説明	以外の判断項目
有	委員会開催に要する時間について、以下の取り組みを通じて1割縮減を図る。 <所要時間の縮減(50時間/回 45時間/回)に向けた取り組み> ・課内、所長レクなどをまとめて実施することにより、所内レク時間を縮減 ・地域医療連携協議会など委員が重複する会議との同日開催により、開催通知、資料調製、会場設営等の時間縮減 ・委員への事前資料送付を郵送からメールに変更することにより、印刷・発送に要する時間を縮減 ・テープ起こしの集中実施により、議事録作成に要する時間を縮減 等	k

・「以外の判断項目」の欄
必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正) 官or民(f.民間等実施) 官の役割分担(g.市町村等へ移管) 効率性(h.外部委託 i.経費節減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の縮減 l.プロセスの改善) m.その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価

見直しの必要性	説明	以外の判断項目

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

見直しの方向(平成26年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等
実施方法等の変更	委員が重複する会議と同日で開催するなど、委員会開催に要する事務処理時間の1割縮減を図る。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。